

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 公告掲載URL http://www.shindengen.co.jp/ir/ （ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

【お知らせ】

- 株式に関する住所変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増のお問合せについて
【証券会社等に口座を開設されている株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
【証券会社等に口座を開設されていない株主様】
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座が開設されております。
下記フリーダイヤルにお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
0120-232-711（三菱UFJ信託銀行証券代行部）
0120-094-777（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部） } 通話料無料
インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- 配当金の支払通知書について
租税特別措置法の2008年改正により、お支払する配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をお送りしております。
【配当金を「配当金領収証」、または「口座振込」にてお受取りになられる株主様】
「支払通知書」を兼ねる「配当金計算書」を同封しております。株主様が確定申告をする際の添付資料としてご利用いただけます。
【配当金を株式数比例配分方式にてお受取りになられる株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 配当金の口座振込のご指定について
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 未受領の配当金について
三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

新電元工業株式会社

〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目2番1号(新大手町ビル)
電話 03-3279-4431(代表)
<http://www.shindengen.co.jp/>



第91期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

Shindengen Electric Manufacturing Co., Ltd.



証券コード：6844

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第91期（平成25年度）の中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

◇当期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景とした円安や株価上昇が進むなど、景気回復への期待が高まりました。世界経済においては、米国では緩やかな景気回復を見せていたほか、欧州でもようやく反転の兆しが見られた一方で、中国やインドをはじめとした新興国では依然として経済成長が踊り場状態にあるなど、不安要素を残す展開となりました。

当社グループを取り巻く環境は、中期戦略において成長事業と位置付けている新エネルギー分野やモビリティ分野を中心に堅調に推移いたしました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の売上高は505億74百万円（前年同期比24.2%増）となりました。利益面においては、大幅な増収の一方で費用は抑制し収益性の向上に努めたほか、為替の円高は正も加わったことで、営業利益は59億70百万円（前年同期は2億16百万円の利益）、経常利益は63億30百万円（前年同期は7億78百万円の損失）、四半期純利益は53億37百万円（前年同期は9億5百万円の損失）となりました。

◇今後の見通し

アジア二輪車市場においては、夏場から続いているアジア通貨安の影響が懸念されるものの、主戦場であるインドネシアが引き続き好調に推移すると見込んでおります。また、新エネルギー市場においては、一服感の見られている太陽光発電向けパワーコンディショナは年度末に向け需要は高まると見込んでおります。

このようななか、通期の連結業績予想につきましては、売上高1,058億円、営業利益110億円、経常利益103億円、当期純利益75億円を見込んでおります。

なお、平成26年3月期の配当予想につきましては、期末配当金として1株当たり5円としておりましたが、上記業績予想等を踏まえ、1株当たり5円増額し、10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今度ともなお一層のご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



新電元工業株式会社

代表取締役社長 田中 新次郎

◇当期のポイント

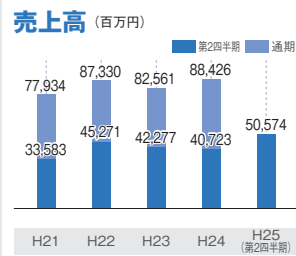
POINT-1 半導体需要、自動車市場向けが堅調

POINT-2 アジア二輪車市場、インドネシア好調・環境対応車の普及により増収

POINT-3 新エネルギー市場、太陽光発電向けパワーコンディショナの売上増加

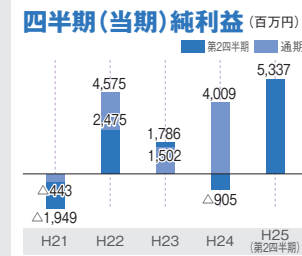
◇連結業績の推移

		第89期 (平成23年度)	第90期 (平成24年度)	第91期 (平成25年度)
売上高	第2四半期	42,277	40,723	50,574
	通 期	82,561	88,426	—
営業利益	第2四半期	3,582	216	5,970
	通 期	5,023	3,333	—
経常利益	第2四半期	2,527	△778	6,330
	通 期	3,699	3,317	—
四半期(当期)純利益	第2四半期	1,786	△905	5,337
	通 期	1,502	4,009	—
1株当たり四半期(当期)純利益	第2四半期	16.49	△9.21	51.80
	通 期	13.73	38.06	—
総資産	第2四半期	104,288	108,870	127,919
	通 期	111,920	118,700	—
純資産	第2四半期	35,472	31,524	44,831
	通 期	34,541	39,746	—
1株当たり純資産	第2四半期	314.13	293.35	435.07
	通 期	322.20	372.73	—



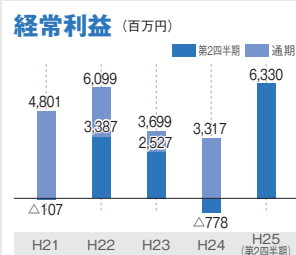
売上高 **505億74百万円** 前年同期比 98億50百万円増

売上高は前年同期比98億50百万円増の505億74百万円となりました。



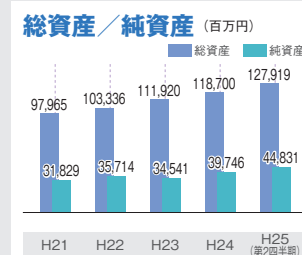
四半期純利益 **53億37百万円** 前年同期比 62億42百万円増

四半期純利益は前年同期比62億42百万円増の53億37百万円となりました。



経常利益 **63億30百万円** 前年同期比 71億8百万円増

経常利益は前年同期比71億8百万円増の63億30百万円となりました。

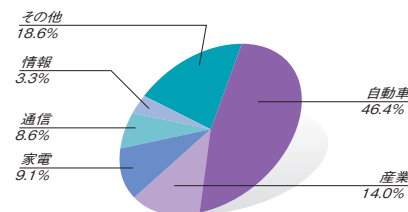


総資産 **1,279億19百万円** 前期末比 92億19百万円増

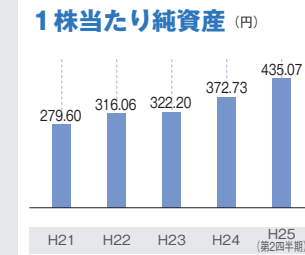
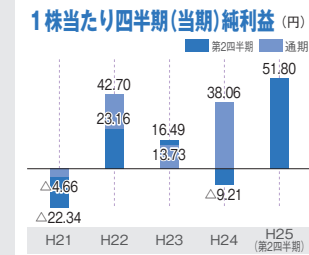
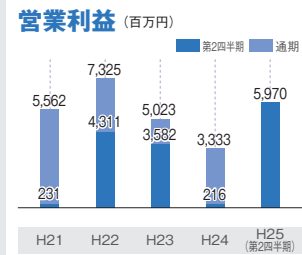
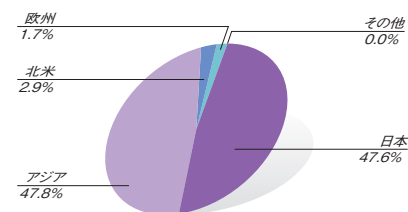
純資産 **448億31百万円** 前期末比 50億85百万円増

総資産については、主にたな卸資産や現金及び預金が増加したことなどにより、前期末に比べ92億19百万円増の1,279億19百万円となりました。

市場別売上構成比率



仕向地別売上比率

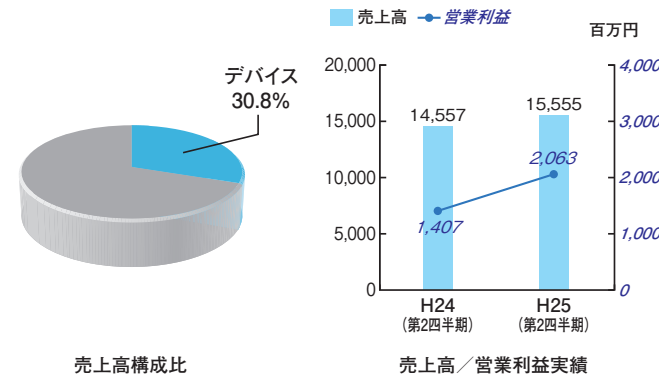


デバイス事業

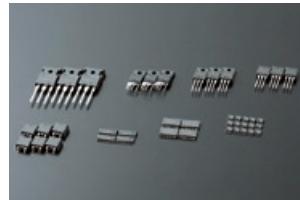
概況（平成25年度）

デバイス事業の売上高は155億55百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は20億63百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

家電市場においては、引き続き低調に推移し前年同期並みの水準に留まったものの、産業機器市場では一部で回復の兆しが見えたことでダイオードが増加したほか、自動車市場においては、好調を持続する北米需要やハイブリッド車をはじめとした環境対応車の増加などにより小型面実装ダイオードが増加し、円安効果も加わったことで、増収、増益となりました。



主要製品



- ダイオード各種
 - ・一般整流ダイオード
 - ・ブリッジダイオード
 - ・高速整流ダイオード
 - ・ツェナーダイオード
- サージ防護素子
- SIDAC
- MOSFET
- IC各種
 - ・高耐圧パワーIC
 - ・省電力型パワーIC
 - ・DC-DCコンバータIC
 - ・モータドライバIC
- パワーモジュール

主な用途

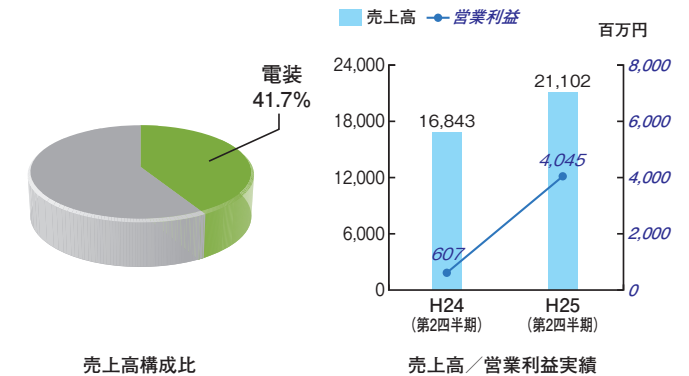
自動車、産業機器
デジタル家電、白物家電
通信機器、OA機器など

電装事業

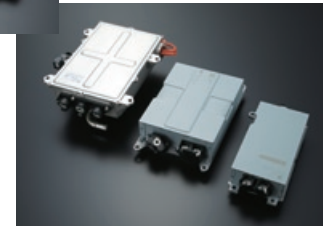
概況（平成25年度）

電装事業の売上高は211億2百万円（前年同期比25.3%増）、営業利益は40億45百万円（前年同期比565.6%増）となりました。

アジア二輪車市場においては、主戦場であるインドネシアが好調だったほか、FIシステム（電子制御燃料噴射システム）向けECU（電子制御ユニット）やレギュレータが増加するなど堅調に推移いたしました。利益面においては、大幅な増収と為替効果に加え、前期に影響が残ったタイ洪水に伴う一時的費用が無くなったことなどにより、営業利益は前年同期比で大幅増益となりました。



主要製品



- 二輪車用電装品
 - ・レギュレータ／レクティファイア
 - ・CDI
 - ・FIシステム向けECU
- 四輪車用電装品
 - ・DC/DCコンバータ
 - ・車載用充電器

主な用途

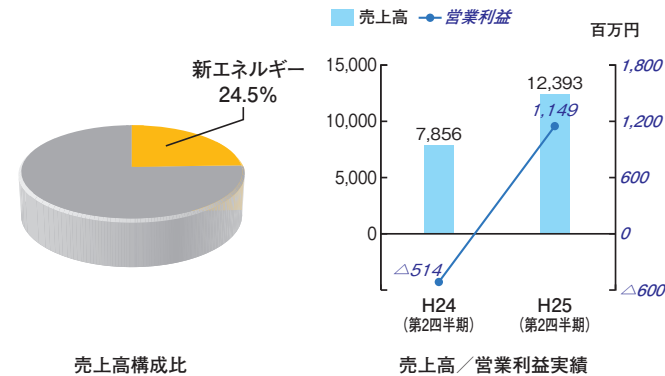
二輪車、自動車、船外機

新エネルギー事業

概況（平成25年度）

新エネルギー事業の売上高は123億93百万円（前年同期比57.8%増）、営業利益は11億49百万円（前年同期は5億14百万円の損失）となりました。

新エネルギー市場においては、前下半期より本格的に需要が高まった太陽光発電向けパワーコンディショナの売上が前年同期比で大幅に増加したことで、情報・通信市場での落ち込みなどをカバーし、増収、増益となりました。



主要製品



パワーコンディショナ
通信局用整流器
移動体基地局用電源
発電機用インバータ
コージェネレーション制御ユニット
EV充電器
情報・産業用スイッチング電源
LED照明用電源

主な用途

太陽光発電システム
蓄電システム、通信局舎
移動体基地局
その他通信機器、汎用エンジン
ガスコージェネレーション
EV用充電器、ストレージ装置
LED照明

◆ その他

売上高は15億22百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は30百万円（前年同期比106.2%増）となりました。

※当期よりセグメント区分を変更しております。
前第2四半期連結累計期間の数値については、変更後の区分に組替えて記載しております。

◆◆◆ 太陽光発電用パワーコンディショナ“SOLGRID®”シリーズ ◆◆◆ 屋外型100kWを新たにリリース

再生可能エネルギーのなかでも急速に普及が進む太陽光発電システム。当社は、本年10月に屋外型100kWタイプのパワーコンディショナ（以下、PCS）の販売を開始いたしました。

昨今、PCSの屋外設置案件が増加傾向にあります。これまで100kWクラスのPCSの主流は屋内タイプでした。

屋内タイプを外に設置する場合、PCSを別途用意した収納箱に入れる必要があることから、お客様より「初期投資がかさむ」、「管理工数が増える」などの声があがっておりました。こうした声に対応すべく当社は今回、屋外設置が可能なPCSを開発いたしました。

これにより直接屋外設置が可能となったほか、10kWPCSとの組み合わせなどにより、お客様の用途に合ったシステム構築を可能にしています。



屋外型100kWパワーコンディショナ
『PVS100T200A-DN-SA-S』



100kW + 10kW × 5台 = 150kW

当社は、企業ミッションである「エネルギーの変換効率を極限まで追求することにより、人類と社会に貢献する。」のもと、環境性能を追求した製品開発に注力し、成長分野である「スマートコミュニティ市場」において事業拡大をめざしてまいります。

◇今後の活躍に乞うご期待！ ～新電元工業陸上競技部～

当社の陸上競技部は、昭和26年に創部以来『駅伝を中心とした競技に主眼を置き、その活動を通じて社会人として誇れる人間形成と競技者としての更なる競技力向上を目指す。』をチーム理念とし、従業員としての通常業務をこなす傍ら、就業後や休日のトレーニングに加え、強化宿泊にて個々のスキルアップとチーム力の向上を図っております。

今年は新メンバーを加え、6月に秋田県で行われた「第62回男鹿駅伝競走大会」では、全区間1、2位の好タイムをたたき出し、区間新記録も飛び出して、15年ぶりに優勝を飾ることができました。

11月3日に行われた、全日本実業団対抗駅伝（元旦のニューイヤー駅伝）出場権獲得をかけた「東日本実業団対抗駅伝」では、出場権の切符を手にするこそできなかったものの、昨年に比ベタイム、順位共に上回る結果を残すことができました。この勢いに乗って、12～2月にかけて行われる『奥多摩溪谷駅伝、奥むさし駅伝、埼玉県駅伝』の総合優勝を目指して寒風に負けずひたむきに精進しております。

株主の皆様におかれましても、お出かけの際に沿道でその勇姿を見かけられる機会がございましたら、是非当社陸上競技部にご声援をお寄せください。

なお、活動スケジュールや結果については、随時ホームページに掲載しておりますので、ご注目ください。



<http://www.shindengen.co.jp/run/>

新電元工業陸上競技部

検索

◇会社概要

商 号 新電元工業株式会社
本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
設立年月日 昭和24年8月16日
資 本 金 17,823百万円
従業員数 連結：5,195名 単体：951名
主要事業所 大阪支店・名古屋支店・飯能工場

◇取締役および監査役

代表取締役社長 森 川 雅 人 取締役 堀 口 健 治
取締役 小笠原 政 教 常勤監査役 横 瀬 是 秀
取締役 荒 幡 義 光 監 査 役 沖 本 隆 史
取締役 鈴 木 吉 憲 監 査 役 三 宅 雄 一 郎
取締役 根 岸 康 美

（注）監査役沖本隆史および三宅雄一郎の両氏は、社外監査役であります。

◇執行役員

常務執行役員 小笠原 政 教 執行役員 堀 口 健 治
上席執行役員 佐々木 延 幸 執行役員 新 関 清 司
上席執行役員 荒 幡 義 光 執行役員 田 中 裕 明
執行役員 肥 後 良 明 執行役員 田 中 信 吉
執行役員 鈴 木 吉 憲 執行役員 佐々木 正 博
執行役員 根 岸 康 美

◇グループ企業一覧

〈国内〉
株式会社秋田新電元
株式会社東根新電元
株式会社岡部新電元
新電元デバイス販売株式会社
新電元スリーイー株式会社
新電元熊本テクノリサーチ株式会社
新電元エンタープライズ株式会社
株式会社新電元ロジステック
新電元メカトロニクス株式会社

〈海外〉
Lumphon Shindengen Co., Ltd.
Shindengen Philippines Corp.
PT.Shindengen Indonesia
Shindengen Vietnam Co., Ltd.
広州新電元電器有限公司
Shindengen (Thailand) Co., Ltd.
Shindengen America, Inc.
新電元（香港）有限公司
Shindengen UK Ltd.

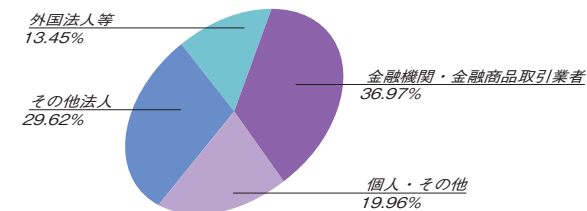
Shindengen Singapore PTE Ltd.
新電元（上海）電器有限公司
Shindengen India Pvt Ltd.
Napino Auto & Electronics Ltd.

◇株式の状況

発行可能株式総数 310,000,000株
発行済株式総数 103,388,848株
株主数 7,249名
大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
本 田 技 研 工 業 株 式 会 社	13,363 千株	12.92 %
中 央 不 動 産 株 式 会 社	9,800	9.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	8,409	8.13
株 式 会 社 損 害 保 険 ジ ャ パ ン	3,689	3.56
資産管理サービス信託銀行株式会社（みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口）	3,568	3.45
朝 日 生 命 保 険 相 互 会 社	3,255	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,232	3.12
新 電 元 工 業 協 力 会 社 持 株 会	2,189	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1,967	1.90
株 式 会 社 埼 玉 り そ な 銀 行	1,857	1.79

所有者別株式分布状況



本書における、将来の見通しに関する記載につきましては、現時点で得られた情報に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご注意ください。